



※「やりっぱなし」が一番たちが悪い。「賢者は歴史に学ぶ」のだ。愚者は失敗しないとわからない…。「見直し」をすることにより間違いなく力がつく、と先輩達は「進路だより」で熱く語っている。どれだけのことが反省できたか？これで次のステップが決まる！まず第一歩を踏み出せ！！何が足りなかったのか、何が理解不足だったのか、等「自分自身との対話」で力がつくのだ。まずは「解答・解説」をじっくり読んでみよう！自分のおかした間違いを有効に活用して（自己分析）、進歩につなげることが大切だ。3年生になると、国公立大学志望者はセンター試験で5倍強の競争にさらされる、ことを忘れないで。 ●「したい人10,000人、始める人100人、続ける人1人」（中谷彰宏）が現実の姿。続けられることが才能でもある。

リスニング

～準備して「待ち受け」ができるかどうか？
毎日5分ずつでいいから英語に触れる、これが大切！

鉄則 リスニング試験を受けるときの準備・心構えは？

対策

- (1) 先に**選択肢**に目を通し、何を聞取ればよいのか「**情報の仕込み**」をしておく
- (2) 余白に「**メモ**」を取って（特に**数字**）概要をつかむ。訓練が必要。
- (3) **読んで分からない英文**は聞取るとは絶対に無理。**知らない単語**も聞き取れない。語い力・文法を鍛えるしかないのだ！**スクリプト**を読め！
- (4) 英語の音に慣れるには**聞く量**（練習）を増やすしかない。毎日聞け！
音読英単語CD、教科書CD、NHK講座、VOA等
- (5) 日本人には聞き取りづらい音がある。 <消える><つながる><変わる>
これは**慣れ**しかない！毎日少しずつ聞くとしか手はない！

1 リスニング問題 差がつく！★本番のセンターは50点満点

<Part 1> <短い会話> 「**選択肢を先読み**」が重要！

No.1 three years have passed so quickly...but I'm really looking forward to college life. This will be the last time we'll sing our school song as students at this school が聞き取れれば、簡単に学校の「卒業式」だとわかる。卒業にあたっての感想を述べているのだ！

No.2 I failed my test — both the ancient and modern sections (古代・近代両分野) I can't remember all those people's names, what they did or when they did it I know we should learn about the past, but I'm just not interested がヒント。下線部情報から「歴史」だとわかる。

No.3 《頻出》8月は忙しい、翌月に。13th (=thirteenth) と 30th (=thirtieth) が意外と区別して聴き取りづらい。そこを狙った問題。**数字は狙われる！**

No.4 would you please cook dinner?に対して、CDを聞いていると答えたが、父は妹をテニスクラブまで迎えに行かないといけなないので、CDは後で聞けと言われ了承した。**夕食を作るはず。**

<Part 2> <やや長い会話> 「**選択肢を先読み**」しておくことが必要

No.1 長距離ドライブ、飛行機、電車がごちゃごちゃと出てくるので、整理して聞かねばならない。帰りは別々に飛行機と電車で帰るが、行きはお金を節約するためにも電車で行くことで一致している。帰りのことを持ち出しているのは誘導のための「ひっかけ」。きちんと聞け！

No.2 《やや難》I haven't seen them for over two years now 「2年以上会っていない」と冒頭で言っている。「**昨年の冬休みに訪問した**」というウが誤り。ア、イ、エは内容に一致。

<Part 3> <長めの講義> **スクリプトを読め！読んでわからないものは聞いてもわからない！**

No.1 「消える言語」「進化する言語」両方あると言っている。ア「**変化している**」が正解。

No.2 《難》If these languages disappear to continue the last of we also risk losing this kind of valuable knowledge を抜き出して「**これらの価値ある知識**」と書けばよいが、「これら」が何を指すかを書いておかないと減点される。直前を聞けばよい（**指示語は真前**が鉄則）。「**海洋の変化**」や「**動物の振る舞い**」についての貴重な知識、とまとめておく。

筆記

★本番のセンターは200点満点



3 発音・アクセント問題 出る単語は決まっている！CDを聞け！

A 発音問題 **知っているか、知らないか、それだけ！音読あるのみ！**

1 mean /i:/と伸ばす音を探せという問題。エの treat だけが/i:/と伸ばしている。dead, pleasant, threat は全部/e/だから違う。綴り字 ea の発音の原則。「イー」「エ」「エイ」のどれか？

2 cough /f/ (咳をする) と /f/ の音を探せという問題。アの enough だけが /f/ の音。ghost/g/, neighbor と through は黙字（発音しない）。綴り字 gh の発音の原則。「フ」「グ」「無視」のどれか？

※八幡の最新リストで今回の出題語を再検討してみると、10語のうち9語出ている。9/10=90%の的中率。うち7語は★印の重要語であった。これを偶然の一致と思うか？本番でも的中率抜群！

B アクセント問題 **知っているか、知らないか、それだけ！頭でなく口を使え！**

1 《難》アの aspect だけが第1音節にアクセント。他は全て第2音節が強い。

2 エの musician だけが第2音節にアクセント。barrier, editor, industry は全て第1音節にアクセント。「**ミュージシャン**」と日本語読みすると間違える！ひっかけ問題。

※八幡の最新リストで今回の出題語を再検討した結果、8語中7語が出題されていた。7/8=88%の的中率。うち5語は★印の重要語であった。このように狙われる単語は決まっているのだ。**八幡『2015年度版センター試験対策本～勉強の仕方』**収録の3種類の「最新リスト」を読めるようにしておくことが一番の対策。前ALJ **ジェーン先生**の読んだ**2枚組CD**をアイポッド等に入れて**反復練習**せよ。

※unique, barrier, musicianは「**カタカナ語**」の出題。日本語読みすると間違えやすい。センター試験でもよく狙われるので注意が必要！詳しくは八幡の「日本語読みするとハマれるカタカナ語」リスト参照。

4 文法・語法問題 知識を問う問題 とにかく覚えよ！

A 語法問題 **「なぜそれが正解か？」を自分自身に説明してみるのが効果的**

1 《やや難》What A is like? (Aはどのような?) という表現を知っていないとアの How にひっかかる。イが正解。「**休暇中の天気はどうでしたか**」

2 前置詞 over 「～を食べながら、～を飲みながら」を知っていれば簡単。エが正解。

3 《やや難》Any book will do 「どんな本でも結構です」の do の使い方を知っていれば簡単。イが正解。「**北高暗唱英文**」の2 Any book will do so long as it is interesting. (おもしろくさえあればどんな本でも結構です。) というのを覚えていた人は簡単にできた。やはり日頃の努力は報われる。

4 《やや難》until ～は副詞節なので未来のことでも現在形。赤いサインが**消される**まで。アが正解。「サイン」は人によって「消される」ので受け身になる。

5 leave the bath water running 「風呂水を出しっぱなしにしておく」イが正解。風呂の水は**流れている**ので running が正解。《原則》V-ing 「～している」 V-ed 「～された」

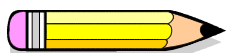
6 《難》be second to none 「誰にも負けない」という熟語の知識。誰に対しても2番目になることは決してない→1番だ、という理屈。エが正解。知っていたら2秒で答えられる。熟語リスト参照。

B 文脈補充問題

- 1 **make up one's mind** 「決心する」という熟語の知識。知っていれば楽勝!
- 2 《頻出》not **matter** 「重要でない、関係ない」 **matter** 動「重要である」の意味で《重要》。count も同じ意味の動詞。一緒に覚えておこう。 **matter / count** 「重要である」
- 3 (3) の後が **helps** と主語もなしに動詞が来ているのが大きなヒント。先行詞の主語を含んだ関係代名詞 **what** (～するもの) が正解。
- 4 《難》「何もせずに」を分詞構文(付帯状況)を使って表すと **doing nothing** (～しながら)

5 《難》長文読解問題 ～物語文は心情の理解 「5W1Hの法則」

- 問1 「ひどい頭痛が数週間続き、生涯傷跡は残るが、もう大丈夫」という医者に対して、両手を取って少し長く握っていた。「ありがとうございます」明らかに医者に感謝している(ウ)。
- 問2 《やや難》直後に、**I hadn't been watching Pat closely enough** in the park. (息子を公園の中でしっかりと見ていなかった) エの「公園にいる間息子から目を離した」が正解。
- 問3 But in reality I wasn't tough at all. **I just liked salt and vinegar potato chips** とある。①は **tough** (強い) を入れればよい。②は **He liked them (very much)** あるいは **He wanted to eat them**。
- 問4 《難》直後に The real punch line to that story was that **he had refused to leave my side**. 病院で「枕元を離れることを拒絶した」⇒枕元を離れようとしなかった(心配でたまらなかったのだ)
- 問5 《難》He would have had that feeling of helpless terror that **only the parent of a sick or injured child can understand**. 病気の子ども、けがをした子どもの親だけに理解ができる絶望感 とあるので、自分の子どもが同様に死に直面したから。当時の父親の気持ちと同じ事を筆者も感じている。
- 問6 《難》パットの事故のせいで、筆者も自分自身の子ども時代にけがをして父親が心配してくれたことを回想しているので、ウが正解。「パットの事故は自分の少年時代の事故を思い出させた」 ※物語文は評論文と違い答えがはっきり書いてないので難しい。



6 《やや難》長文読解問題 ～評論文 「指示語は直前、説明は直後」が原則

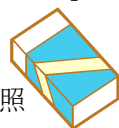
★ ⑤ ⑥ ともに「解答・解説」の重要 頻出 の語句を押さえておこう!

- 問1 直前に、A population that breeds without limits will **grow rapidly**. (急速に成長) とあるので、個体数がネズミ算式にどんどん増えていくのだ。ア「どんどん速く」が正解。
- 問2 《難》Earth will never be **covered** with mice, spiders, or mushrooms, because each will eventually run up against **challenges** to its basic needs that will **limit** its population ①は能動態に戻して **cover** 「個体数を制限する基本的に必要な物に対する試練」 ②は **challenges** (試練) または **limits** (制限) 後ろに are とあるので複数形の名詞であることに注意!
- 問3 For instance 以下5行をまとめればよい。 糖分消費⇒二酸化炭素の増加⇒死滅
- 問4 《難》"aggressive fishing"をキーワードにしてその近辺を探る。The trout will **produce more eggs** and the young trout will **grow faster** が正解。「卵をより多く産む」「稚魚が速く成長」の2つ。
- 問5 直後の the population will **increase until it reaches a particular density, then remain at about the same number** とある部分を訳しておけばよい。「一定密度までは増えるが、その後は同じ数が保たれる」「説明問題は直後を見る」が鉄則だった。 ※語彙が難しいので難しい気がするだけ。
- 問6 《難》直前に「1エーカーあたりでより多くの穀物を生産した」とある。⇒その結果(, so that ~)生ずることを探せばよい。当然イ「同じ水田で以前より多くの人を養えるようになった」が正解。文脈を捉える問題。
- 問7 《難》本文をよく読むと見えてくる。選択肢も大きなヒント。検算も。

集団が成長して環境の(①)を超えると→「収容量」 ※第4段落第3文参照

このような(②)を防ぐのに→「死滅」 ※第4段落第4文

その環境内で生きられる(③)を持っている→「内在感覚」 ※第5段落第1文



7 英作文問題 差がつく問題

A 語句整序問題 ※下記の8つのセット(①~⑧)が組めるかどうかの基本 苦手とする人多し!

- 1 **make sure that S+V** 「～を確認する」という熟語。①より all the doors are locked
<正解> **make sure that all the doors are locked**
- 2 ③より the (same) question. ⑦より to be (次の asked と結びついて「尋ねられる」)。動詞が三単現の continues であることを見抜ければ、その主語になるのは question しかない。
<正解> **The same question continues to be** (同じ質問が繰り返されている)
- 3 《難》cannot... too 「いくら～してもしすぎることはない」という重要熟語表現。⑥より cannot respect 目的語の someone like him (彼のような人)の語順が難しい。 <正解> **we cannot respect someone like him too** (彼のような人をいくら尊敬してもしすぎることはない)

■ 語句整序問題の着眼点8つ + これに熟語の知識 ※最後に意味の確認も!(検算)

①「主格代名詞・名詞+V」のセット (例: He suggest <u>s</u> など) ㊦ 動詞を決めてから主語へ
②「所有格(one's)+名詞」のセット (例: <u>his</u> bookなど)
③「冠詞(the/a/an)+名詞」のセット (例: <u>the</u> book/ <u>a</u> book/ <u>an</u> orangeなど)
④「前置詞+(代)名詞」のセット (例: <u>on</u> the deskなど) ※前置詞の後には名詞が来る
⑤「前置詞+動名詞(V-ing)」のセット (例: <u>on</u> goingなど) ※前置詞の後には名詞が来る。動詞を続けるには-ing (動名詞) にして名詞化
⑥「助動詞+動詞の原形」のセット (例: <u>must</u> go, <u>can</u> playなど)
⑦「to+動詞の原形」のセット (不定詞) (例: <u>to</u> goなど) ※前置詞の to と区別
⑧「接続詞/関係詞/疑問詞 S+V」のセット (例: <u>while</u> S+V <u>where</u> S+V など)

鉄則 小さくつないで大きくまとめる!
この文は何を言おうとしているのか?(意味)

B 和文英訳問題 簡単な英語でいかに処理するか? 「北高暗唱英文」が役に立つ

(1) 《難》It is not until ~ that... 「～して初めて…」の強調構文を使う。「分からなかった」は I didn't realize/ know 「携帯電話をなくす」lose my cell phone 「どれほど」→「どれだけ」
たくさん how much 「必要としていた」 I needed あるいは I depended on **It was not until I lost it that I realized how much I needed it.** あるいは **I didn't know how much I depended on it until I lost it.**

(2) 「驚いたことに」は To my surprise 「支配する」control/ rule (進行形)受け身で。 **To my surprise, I was (being) controlled by it.** あるいは **I was surprised to find that I was ruled by it.**

C 《難》自由英作文問題 ポイントを押さえた英文で 差がつく問題!

2つのグラフから、(1) 毎日朝食を食べた人のほうがより健康である。(2) 朝食を食べた人のほうがより良い成績を取っている。 ことがわかる。この二点を英語でまとめればよい。「グラフを見て何が言えるか?」は新課程入試の目玉。
(正解例) **the students who eat breakfast every day feel healthier and get better marks (than those who don't)**